

2022年7月16日、東北遊商・社会貢献委員会ほか有志による

鎮守の森プロジェクト 第1回宮脇昭記念植樹祭への参加



「森の防潮堤」や「宮脇方式の森づくり」の提唱者であり、当財団副理事長でありました宮脇昭先生がご逝去されてからちょうど1年の命日（7/16）となりました。宮脇先生の意志を受け継ぎ次の世代へと伝えるための記念日として、小さな植樹祭を執り行いたいと思います。またこの日は、通常の植樹祭であれば、スタッフが行っているような植樹準備（整地、苗木の仕分け、資材準備など）も参加者のみなさまに体験していただく予定です。また草抜きも行い、普段より濃密な作業内容となっておりますので、いつも物足りない方も、初めての方も、ぜひご参加ください！共に、1本でも多くの木を植えましょう。合言葉は「タブノキ」！（宮脇先生が好んだ樹種です）。

鎮守の森プロジェクトから許可転載

令和4年7月16日（土）、前日から大雨洪水警報が発令されていた宮城県岩沼市にて“第1回 宮脇昭記念植樹祭”が行われ、東北遊商から社会貢献委員6名、全商協理事、有志の方々総勢9名が参加してきました。

前日からの大雨も、開始の13時には曇天となり、参加者としては安堵の声も上がりましたが、当初、募集総勢100名での植樹活動の予定が主催者側を合わせても30名前後での植樹となりました。

また、今回の植樹は、先ず以前に植樹した場所の下草刈りを約1時間行った後に、苗木のポット分け、植樹エリアの杭打ち、植樹、マルチング（藁敷）と一通りの作業をも我々で行うという活動です。

以前から、この植樹活動が行われ、私自身も3回目の参加となりますが、我々が植樹してきた苗木が何10年、何100年か後には立派な“防潮林となってくれることで、この東北の地を災害から守ってもらいたいもの、そういう思いを込めて植樹活動をしてまいりました。

今回、参加の東北遊商関係者の皆様、大変ありがとうございました。

防潮林とは

**【津波災害時】**



植樹作業スナップ

■ 苗木の種類別ポット分け



■ 杭打ち



■ 苗木の水やり



■ 植樹





■ 植樹



■ マルチング



■ 植樹終了～！お疲れ様でした(´▽`)



■ 参加していただきました皆様、本当にご苦労様でした。